

K 1 4 2 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術のコード新設について

平成 25 年 1 月 24 日付厚生労働省保険局医療課の事務連絡に基づき、下記のとおりコードを新設いたしましたのでご連絡いたします。

記

1．新規コードについて

平成 25 年 1 月 24 日付事務連絡「疑義解釈資料の送付について（その 11）」の<別添 1>問 4 に基づき以下の 6 コードを新設いたします。

診療行為コード	省略漢字名称	点数	単位
150368870	多椎間又は多椎弓実施加算（前方椎体固定）	18,620	122（椎間）
150368970	多椎間又は多椎弓実施加算（後方又は後側方固定）	14,950	＼
150369070	多椎間又は多椎弓実施加算（後方椎体固定）	18,710	＼
150369170	多椎間又は多椎弓実施加算（前方後方同時固定）	37,500	＼
150369270	多椎間又は多椎弓実施加算（椎弓切除）	6,050	127（椎弓）
150369370	多椎間又は多椎弓実施加算（椎弓形成）	10,850	＼

2．記録上の留意事項について

- (1) 点数表においては注による加算ですが、『告示等識別区分（ 1 ）』を[ 1：基本項目]で設定しています。このため[ 1：基本項目]として設定されている診療行為コードの一般的な扱いについてご注意ください。

ア 時間外加算、休日加算等の％加算については、基本項目ごとに記録が必要です。

イ 脊髄誘発電位測定等加算、画像等手術支援加算については、既存の K 1 4 2 のコード及び今回新設したコードのどちらにも記録することが可能です。ただし、一連の手術であることから、加算の記録が重複しないようにご注意ください。

また、画像等手術支援加算については、「150369370：多椎間又は多椎弓実施加算（椎弓形成）」のみ「実物大臓器立体モデル」の対象で、その他の今回新設したコードについては「ナビゲーション」の対象となります。記録位置について併せてご注意ください。

- (2) 『きざみ値計算識別』を[ 1：きざみ値により算定する診療行為]で設定しています。

既存のコードと同様に単位に応じた数量の記録が必要となります。なお、点数表 K 1 4 2 の注のとおり一連の手術において加算を併せて 5 椎間及び椎弓を超えないようにご注意ください。